

一般社団法人千葉県社会福祉士会ばあとなあ千葉名簿登録規程

規程第22号

<制定> 平成25年7月20日

改正 平成25年11月16日

改正 平成27年11月28日

改正 令和2年3月22日

改正 令和2年11月8日

最新改正 令和3年2月1日

(目的)

第1条 本規程は一般社団法人千葉県社会福祉士会（以下、「本会」という）権利擁護センターばあとなあ千葉（以下、「ばあとなあ千葉」という。）運営規程（規程第21号）に基づき、所属する会員による適切な成年後見業務の執行を確保することを目的として、ばあとなあ千葉運営規程第3条第1項第4号から第8号の事業の実施について必要な事項を定める。

(ばあとなあ名簿への登録)

第2条 本会は、次の各号に掲げる者を、その申請に基づき、第8条に定める審査を経て、成年後見人候補者名簿（以下、「ばあとなあ名簿」という。）に登録するものとし、登録された者を、ばあとなあ千葉運営規程第2条第2項に定める「登録員」とする。

- (1) 所属する会員で、成年後見人養成研修（委託集合研修）の修了者
 - (2) 所属する会員で、成年後見人養成研修（通信研修）の修了者
 - (3) 所属する会員で、成年後見人養成研修（都道府県社会福祉士会研修）の修了者
 - (4) 未成年後見人養成研修修了者
- 2 本会は、ばあとなあ千葉名簿に登録した者（以下「名簿登録者」という。）で、未成年後見人候補者の養成研修修了者を、その申請に基づき、審査を経て、ばあとなあ千葉名簿に未成年後見人候補者（以下「名簿追記登録者」という。）として追記するものとする。
- 3 本会が、運営規定第3条1項6号の事業（以下「法人後見」という。）の事務執行者として任命する者は、第1項の「登録員」とする。
- 4 本会が、運営規定第3条1項5号の事業（以下、「法人未成年後見」という。）の事務執行者として任命する者は、第2項の名簿追記登録者とする。
- 5 本会は、前項に規定するばあとなあ名簿への登録および更新に際し、必要な研修の受講、およびばあとなあ千葉運営委員会（以下、「運営委員会」という）が別途定める事項を条件とすることができます。

(ばあとなあ名簿登録事項)

第3条 本会は、ばあとなあ名簿への登録を次の各号の内容をもって行う。

- (1) 申請者の氏名、生年月日、住所
 - (2) 申請者の会員番号、成年後見人養成研修受講者番号
- 2 本会は、必要に応じて前項に規定する以外の項目を名簿登録事項とすることができます。この場合は、名簿登録申請者にあらかじめ告知し、同意を得る。
- 3 登録員は、ばあとなあ名簿登録事項に変更があった場合には、変更内容を速やかに本会に届けなければならない。

（登録の抹消）

第4条 本会は、後見等受任中および法人後見の事務執行者に就任中であるときを除き、登録員及び名簿追記登録者から登録抹消の申請があった場合は、当該登録員をばあとなあ名簿か及び追記登録者名簿ら抹消する。

2 登録抹消申請者が、第5条第1項第3号または第4号に該当するときは登録抹消に応じず、同条同項に基づきばあとなあ名簿及び追記登録者名簿から削除することができる。

（登録の削除）

第5条 本会は、登録員のうち次の各号に該当する者は、ばあとなあ名簿及び追記登録者名簿から削除する。

（1）本会の正会員資格を喪失した者

（2）ばあとなあ千葉運営規程第13条に定める名簿登録料、同第14条に定める受任会費の未納があり、納入督促に応じない者

（3）「一般社団法人千葉県社会福祉士会会員の懲戒に関する規則（規則第6号）」により戒告以上の懲戒処分を受けた者

（4）民法第846条の解任および民法第847条の欠格事由に相当する者

2 本会は、前項の規定によりばあとなあ名簿及び追記登録者名簿から削除した者について、その事実を家庭裁判所に報告することができる。

（再登録）

第6条 本会は、第4条に基づき登録を抹消した者から再登録及び再追記登録の申請があったときは、第8条に定める審査を経て、ばあとなあ名簿に再登録することができる。

2 本会は、第5条第1項に基づき登録を削除された者が、その理由を解消して再登録の申請をしたときは、第8条に定める審査を経て、ばあとなあ名簿及び再追記登録に再登録することができる。但し、この場合は理事会の承認を経なければならぬ。

（ばあとなあ名簿の登録期間および名簿登録更新）

第7条 ばあとなあ名簿及び再追記名簿登録の有効期間は、各年度の4月1日から翌年3月31日までの1年間とする。登録初年度については、登録日からその直近の3月31日までとする。

2 登録員の次年度の更新申請は、各年度の2月1日から同月末日までの期間に行うものとする。

3 本会は、ばあとなあ名簿及び再追記名簿の登録更新にあたって、前登録期間に1回以上更新研修を受講していることを条件とすることができます。

（審査）

第8条 本会は、名簿登録、更新、再登録申請に基づき、当該年度のばあとなあ名簿登録を認めるか否かにつき、ばあとなあ千葉において審査する。

2 審査は、原則として4月に行い、登録日は各年度の4月1日とする。年度途中の審査については、別に運営委員会が定める。

3 審査は、次に掲げる項目について総合的に評価し、ばあとなあ名簿及び追記名簿への登録、更新の可否を決定する。

（1）千葉県社会福祉士会会費およびばあとなあ千葉運営規程第13条に定める名簿登録料、同第14条に定める受任会費の納入状況

（2）日本社会福祉士会社会福祉士賠償責任保険（Cプラン・成年後見業務及びEプラン・未成年後見業務）（以下、「ばあとなあ保険」という。）の保険料の納入状況

- (3) 苦情申立てまたは裁判などの有無およびその状況
 - (4) 過去のばあとなあ名簿及び追記名簿からの登録削除の有無およびその事情
 - (5) ばあとなあ千葉が実施する研修等の受講状況および活動報告の状況
- 4 審査によりばあとなあ名簿及び追記名簿への登録および更新を認められないとされた者については、理事会の承認を経て家庭裁判所にその事実を報告することができる。
- 5 登録、更新を認められない者に対しては、理由を付して通知する。

(他県登録員の移動)

- 第9条 他の都道府県社会福祉士会において第2条に定める登録員に相当した者が本会の正会員となった場合、ばあとなあ千葉の「登録員」となるためには、第2条に定める手続きを経なければならない。
- 2 前項の移動がばあとなあ千葉運営規程第13条に定める名簿登録料納付後の場合、当該年度の名簿登録料はこれを徴収しない。

(登録員の義務)

- 第10条 登録員は、公益社団法人日本社会福祉士会（以下、「日本会」という）の定める社会福祉士の倫理綱領および行動規範を遵守して後見等活動に従事しなければならない。
- 2 登録員は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。
- (1) 第11条に定める活動報告を行うこと
 - (2) ばあとなあ保険に加入すること
 - (3) 本会が行う研修等を受講し、研鑽に努めること
 - －本会が原則として年に2回以上実施する必須登録員研修のうち、少なくとも1回は必ず受講すること
 - －その他本会が実施する各種研修について、別に運営委員会が定める受講基準を満たすこと
 - －これらの受講基準を満たさない者の取扱いについて、別に運営委員会で定める
 - (4) ばあとなあ名簿登録内容を、日本会、家庭裁判所及び成年後見人等の候補者情報を必要とする個人もしくは団体に提供することを承認すること。
 - (5) 本会およびばあとなあ千葉の指導・助言を尊重し、その内容実現に努力すること。
 - (6) 業務遂行上知り得た情報について、社会福祉士の倫理綱領および社会福祉士の行動規範に従い、秘密保持すること。
- 3 名簿追記登録者は、前項に加え、ばあとなあ保険（Eプラン・未成年後見業務）等に加入しなければならない。

(活動報告)

- 第11条 登録員は、本会に対して年1回活動報告書を提出しなければならない（以下、「定期報告」という）。この定期報告は、各年度の2月1日から同月末日までの間に行う。
- 2 登録員は、次の各号に該当するときは、前項の規定に拘わらず活動報告書を提出しなければならない（以下、「随時報告」という）。
- (1) 定期報告以外の報告が必要と認められるとき
 - (2) 後見等活動を開始したとき（任意後見監督人が選任されたときを含む）
 - (3) 後見等活動を終了したとき。および、引き継ぎ事務が完了したとき
 - (4) 任意後見契約を締結したとき
 - (5) 任意後見契約を締結しようとするとき（任意後見契約の締結に伴う任意代理の委任契約の締結を含む）
- 3 前2項の活動報告の項目について、運営委員会が別に定める。

4 登録員は、運営委員会が必要とみとめて面談（グループ面談含む）を要請した場合は必ずこれに応じ、活動状況の報告および運営委員会が必要とする書類を提出しなければならない。

（登録員に対する支援）

第12条 本会は、登録員が質の高い適正な成年後見事務を遂行できるよう必要な支援を行う。

2 本会は、第11条に定める活動報告を点検し、活動実態の把握と必要な指導助言を行う。

3 本会は、初回受任者に対して、家庭裁判所に提出する受任直後の事務報告書（就職時）および1年後に提出する初回報酬付与申立書および後見事務報告書に関して、登録員からの相談に応じて適切な指導を行う。

4 本会は、登録員の相談に応じ、登録員を支援するために、活動状況を把握できる体制を整備し、適宜登録員の活動状況把握に努める。

（名簿の管理と活用）

第13条 ぱあとなあ名簿は、本会の管理のもとにおく。

2 本会は、ぱあとなあ千葉運営規程第3条に規定する事業の遂行のため、次の各号に掲げる機関へぱあとなあ名簿を提出することができる。

（1）管轄する家庭裁判所

（2）日本会

（3）成年後見人等の候補者情報を必要とする個人もしくは団体

3 本会は、各登録員の活動状況について、必要な事項を前項（1）および（2）に規定する機関へ報告することができる。

（改廃）

第14条 この規程を改廃するときは、理事会の承認を経なければならない。

附 則

（施行期日）

1 この規程は、制定の日から施行し平成25年4月1日から適用する。

（研修実施の留保）

2 第2条第1項第3号の研修（成年後見人養成研修・都道府県研修）については、平成25年度は実施しないものとする。

3 第7条第3項の研修（更新研修）については、平成25年度は実施しないものとする。

附 則

1 この規程は、改正の日から施行し平成25年10月1日から適用する。

附 則

1 この規程は、改正の日から施行し、平成27年4月1日から適用する。

2 第2条第1項第3号の研修（成年後見人養成研修・都道府県社会福祉士会研修）については、平成27年度は実施しない。

3 第7条第3項の更新研修については、当分の間、必須登録員研修をこれにあてる。

附 則

1 この規程は、改正の日から施行し令和2年4月1日から適用する。

附 則

1 この規程は、改正の日から施行し令和3年2月1日から適用する。